

背景・課題

当地区のサトイモ栽培では、疫病の発生により生育期間中の農薬散布が10回程度必要な場合があり、農業者の負担が大きい。

また、慣行では子芋から出たズイキを生育期間中に刈り取る作業（子ズイキ刈り）を行うことで製品の品質向上に寄与しているが、作業の負担が大きいいため、製品を高品質に維持しつつ子ズイキ刈りを省略できる技術の開発が求められている。

成果目標と達成状況

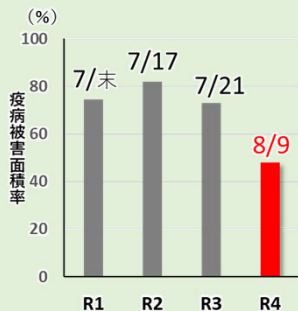
- ①サトイモ疫病の面的一斉防除実施による防除回数の削減(R4→R9)：10回→8回（2回削減）
- ②農薬散布時間の削減（R4→R9）
：セット動噴 34.3分/10a→ドローン 2.3分/10a（15分の1に削減）
- ③生分解マルチの導入（R4→R9）
：20ha→40ha（20ha増加）
- ④「子ズイキ刈り回数」の削減（R4→R9）
：2回→0回（2回削減）

取組の成果

①ドローンを活用したサトイモ疫病の面的一斉防除

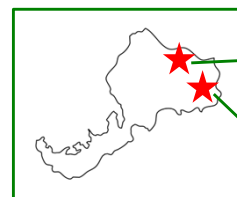
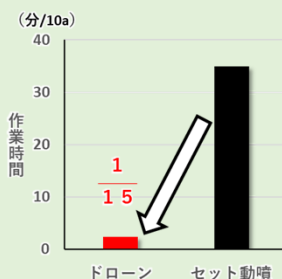


■：面的一斉防除実施圃場



* グラフ上の日付は初発確認日

②農業用ドローンによる防除



勝山市

大野市

構 成 員

農業者、JA福井県奥越営農経済センター、大野市、勝山市、県奥越農林総合事務所

品 目

さといも

栽培マニュアル・産地戦略

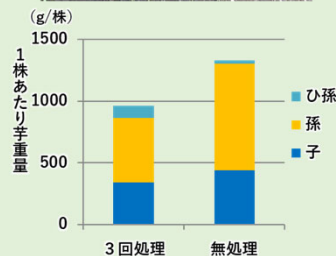
奥越地区園芸タウン推進協議会 サトイモのグリーンな栽培体系推進に向けた産地戦略について



| 福井県ホームページ

https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/okuetsu-noso/sienbu/green_sanchisenryaku.html

③④生分解マルチと子ズイキ刈り省略技術を組み合わせた省力多収技術



生分解性マルチを使用した場合、子ズイキ刈りを省略しても収量品質が従来と同等以上に維持されることを確認

普及に向けた取組

福井県奥越農林総合事務所のホームページに栽培マニュアルを掲載

問い合わせ先

福井県 奥越農林総合事務所 農業経営支援部
TEL：0779-65-1490